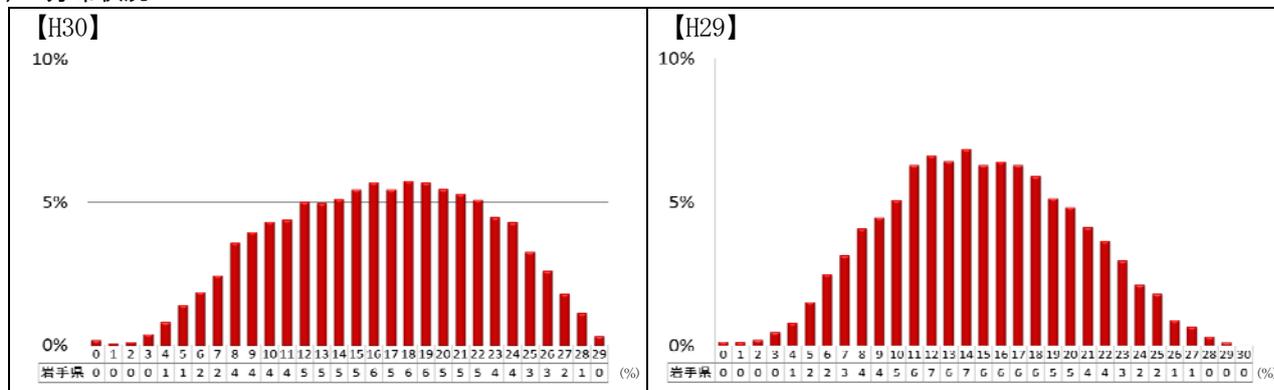


## 授業改善の手引 中学校第2学年社会

### 1 調査結果

#### (1) 分布状況



○ 問題数は昨年度より1問減り29問、正答数の最頻値は18問、平均正答数は15問です。昨年度の分布と比較して、山が右側に移動しています。

(正答数の最頻値：該当する生徒数の最も多い正答数)

#### (2) 領域等の正答率 (正答率の( )の数字は平成29年度のもの、< >の数字は平成28年度のもの)

領域等	正答率	観点	正答率
地理的分野 (14問)	58% (59) <47>	社会的な思考・判断・表現 (9問)	46% (49) <42>
歴史的分野 (15問)	55% (41) <43>	資料活用の技能 (10問)	64% (51) <50>
活用 (4問)	40% (40) <35>	社会的事象についての知識・理解 (10問)	58% (49) <44>

#### (3) 結果概要

- 「資料活用の技能」の正答率は、昨年度を13ポイント上回っています。様々な図法の地図を読み取る問題で改善が見られましたが、西暦年が何世紀かを答える問題は課題が継続しています。
- 「社会的事象についての知識・理解」の正答率は、昨年度を9ポイント上回っています。昨年度課題となっていた歴史的分野において改善傾向が見られましたが、引き続き学習の充実が必要です。
- 活用に関する問題(通し番号8, 14, 23, 26)の正答率は40%です。複数資料を読み取って社会的事象について考察、説明する問題等で課題が継続しています。

#### (4) 経年比較問題の状況 (○改善, ◇改善傾向, ●課題が継続, ▲は前回調査との比較マイナスを表す)

通し番号	正答率	比較	出題のねらい(内容)	H29比較問題No
○3	69	3	様々な図法の地図を読み取る問題	3
●8	33	▲1	複数資料を読み取り社会的事象について考察する問題(ナイジェリアの輸出の変化)	8
◇11	63	0	経度差から時差を読み取る問題	11
◇14	47	14	複数資料から特色を考察し、条件を踏まえて説明する問題(日本の発電)	13
○16	67	50	人物名を答える問題(聖徳太子) ※昨年度は天武天皇	17
●21	48	▲6	西暦年が何世紀かを答える問題	21
●23	22	▲16	複数資料を読み取り社会的事象について考察する問題(豊臣秀吉の政策のねらい)	24
◇26	59	3	適切な課題を設けて行う学習に関する問題(考察するための資料の選択)	25

## (5) 小問別正答率

問題番号		調査問題のねらい	学習指導要領との関連	主な観点	備考	正答率	選 択 No. (%)							
大問	小問						通番号	1	2	3	4	5	6	0
								選択	選択	選択	選択	誤答	正答	無解答
1	(1)	1	地図から本初子午線を読み取ることができる。	地理(1)ア	技	57	4	57	26	11	1			
	(2)	2	世界の六大陸の名称と位置を理解している。	地理(1)ア	知・理	54					40	54	6	
	(3)	3	様々な図法の地図を読み取ることができる。	地理(1)ア	技	69	7	9	69	7	5		3	
2	(1)	4	世界各地の自然環境の理解をもとに、資料を読み取ることができる。	地理(1)イ	技	50	11	22	15	50	2		1	
	(2)	5	世界の様々な生活の様子について理解している。	地理(1)イ	知・理	72	15	6	72	3	4			
	(3)	6	世界の様々な宗教について、資料をもとに判断することができる。	地理(1)イ	思・判・表	41	19	27	41	9	4			
3	(1)	7	中国の人口・気候・農業の関連について、複数の資料を読み取ることができる。	地理(1)ウ(ア)	技	74	11	74	5	9	1			
	(2)	8	ナイジェリアの輸出の変化について、複数の資料を読み取って考察し、説明することができる。	地理(1)ウ(ウ)	思・判・表	33					48	33	20	
4	(1)	9	日本の地域区分、都道府県の名称と位置について理解している。	地理(2)ア	知・理	50	14	21	50	13	1		1	
	(2)	10	日本の国土と排他的経済水域について、資料を読み取ることができる。	地理(2)ア	技	62	4	8	24	62	1		1	
	(3)	11	経度差から時差を読み取ることができる。	地理(2)ア	技	63	8	19	63	8	1		1	
5	(1)	12	日本の人口構成の変化について、資料を読み取ることができる。	地理(2)イ(イ)	技	88	88	4	5	3	1			
	(2)	13	日本の産業の特色について考察し、判断することができる。	地理(2)イ(ウ)	思・判・表	56	6	10	24	56	1		1	
	(3)	14	日本の資源・エネルギーに関する複数の資料を読み取り、その特色について考察し、条件をふまえて説明することができる。	地理(2)イ(ウ)	思・判・表	47					32	47	20	
6	(1)	15	弥生時代の人々の生活について理解している。	歴史(2)ア	知・理	56	56	23	10	8	2		1	
	(2)	16	聖徳太子の政治改革について理解している。	歴史(2)イ	知・理	67					20	67	13	
	(3)	17	古代の仏教の変遷について、史実を判断することができる。	歴史(2)イ	思・判・表	40	15	40	19	22	3		1	
	(4)	18	古代の政治の特色について理解している。	歴史(2)ウ	知・理	40	22	26	9	40	1		1	
7	(1)	19	鎌倉時代の執権政治について理解している。	歴史(3)ア	知・理	68	10	68	7	14	1		1	
	(2)	20	鎌倉文化を代表する作品を理解している。	歴史(3)イ	知・理	62	62	16	15	6	1		1	
	(3)	21	西暦から、その年が何世紀であるかを読み取ることができる。	歴史(1)ア	技	48					44	48	8	
	(4)	22	室町時代における東アジアの国際関係について理解している。	歴史(3)ア	知・理	58	17	7	58	16	1		1	
8	(1)	23	豊臣秀吉の政策に関する複数の資料を読み取り、その特色について考察し、説明することができる。	歴史(4)ア	思・判・表	22					61	22	17	
	(2)	24	江戸幕府の支配のしくみについて、資料を読み取ることができる。	歴史(4)イ	技	77	77	10	6	4	1		1	
	(3)	25	江戸時代の都市の発展について理解している。	歴史(4)ウ	知・理	60	13	8	60	16	2		1	
	(4)	26	江戸時代の百姓一揆の特徴について、考察するための資料を選択することができる。	歴史(4)エ	思・判・表	59	59	6	19	13	1		2	
9	(1)	27	壺田永年私財法の理解をもとに、奈良時代の人々の負担について、資料を読み取ることができる。	歴史(2)イ	技	53					36	53	11	
	(2)	28	御成敗式目の理解をもとに、鎌倉時代の様子について判断することができる。	歴史(3)ア	思・判・表	36	26	25	36	9	2		2	
	(3)	29	武家諸法度の理解をもとに、江戸時代の様子について判断することができる。	歴史(4)イ	思・判・表	79	10	79	5	4	1		1	
全体正答率						57								

※整数値で表示のため、合計が100にならない場合があります。

## 2 指導のポイント

(1) 歴史の大まかな流れの中で、基礎的・基本的な知識の確実な定着を図りましょう。

### ア 問題例とその概要

《問題例》【6】(4)・通し番号18】

＜社会的事象についての知識・理解＞

〔問題文〕 年表中の下線部Dのころの政治の説明として正しいものを、次の1～4の中から1つ選び、その番号を書きなさい。

年	できごと
239	A 卑弥呼が魏に使者を送る
593	B が摂政になる
607	小野妹子を隋に派遣する ……………
630	第一回の遣唐使を派遣する
894	遣唐使が停止される
1053	D 平等院鳳凰堂が建立される ……………

1 征夷大將軍に任命された坂上田村麻呂が東北地方に進出し、朝廷の勢力を広げた。

2 白河天皇が位をゆずって上皇となったのちも、摂政や関白をおさえて政治を行った。

3 瀬戸内海の高麗をしずめた一族が高い地位に就き、広大な公領や荘園を支配した。

4 藤原氏が、天皇が幼いときには摂政、成人したのちには関白に就いて政治を行った。

《解答状況》 選択肢1:22% 選択肢2:26% 選択肢3:9% 選択肢4:【正答率】40%

#### 《誤答分析》

摂政や関白といった用語や記憶している人物名を頼りに解答していることが考えられ、時代の大まかな流れの理解や人物の功績、歴史的事象との関わりについての理解が不十分であるといえます。

### イ 指導上の留意点

歴史上の出来事や人物に関する資料（絵画・文献等）を積極的に活用し、年表や地図と関連付ながら生徒の興味・関心を育てる指導に努めましょう。その際、「なぜ、そのような事象が起きたのか」「その結果、どのようになったのか」等の問いにより、生徒自身が、因果関係を短くまとめたり、歴史的事象を簡潔にまとめたりできるようにしましょう。時代の様子を捉える力が不十分であることが【9】(2)・通し番号28】からもうかがえます。

(2) 学習の基本となる地図や写真等の資料の読み取り技能を確実に身に付けさせましょう。

### ア 問題例とその概要

《問題例》【2】(3)・通し番号6】

＜社会的な思考・判断・表現＞

〔問題文〕 地図中Xの地域で広く信仰され、次の写真で示されている宗教の説明として正しいものを、あとの1～4の中から1つ選び、その番号を書きなさい。

1 東南アジアから東アジアにかけて信仰が広がっている。	
2 日曜日に教会に行く人が多く、食事前に神に祈りをささげる人々もいる。	
3 ラマダーン（ラマダン）と呼ばれる約1か月間に断食が行われる。	
4 紀元前後にパレスチナ地方に生まれた人物の教えをもとにした宗教である。	

《解答状況》 選択肢1:19% 選択肢2:27% 選択肢3:【正答率】41% 選択肢4:9%

#### 《誤答分析》

約4割の生徒が正答している一方で、選択肢1、選択肢2の誤答を多くの生徒が選択しています。このことから、イスラム教の分布の様子を地図上でイメージすることや、イスラム教とキリスト教の生活様式の違いを理解することが不十分であるといえます。

### イ 指導上の留意点

世界各地の写真や映像資料、地図等を活用し、衣食住等の日常生活が宗教と密接に関係していることを、調べたり、まとめたり、発表したりしながら、具体的に理解させるようにしましょう。また、各分野で学習する際にも、既習事項を活用したり、時事問題と関連付けたりしながら、繰り返し学習するようにしましょう。

